

WACATE マガジン Magazine Vol.1

＊ ご挨拶 ＊

WACATE-Magazine 発行にあたって

WACATE 実行委員長 池田 暁

「ソフトウェアテストに関わるエンジニアがもっと手軽に、そして気軽に情報に触れる場を持ってないだろうか。」また、「WACATE は年に二回開催しているが、交流の場がその計 4 日間だけにとどまってしまうのはもったいない。」

そんな思いから、**このたび WACATE-Magazine を発行することになりました。**

この WACATE-Magazine の基本となるコンセプトは WACATE イベントと同様「学級新聞のような手作り感あふれる紙面づくり」です。学会誌などのような技術論をメインにしたものではなく、学級新聞のような、イベントレポートや先輩・若手のコラム、そしてテスト生活を充実させるためのライトな記事など、仕事の合間に気軽に読めるものにしていきたいと考えております。また、実行委員の声も沢山出して、参加者の皆様に、もっと WACATE 実行委員会を身近に感じてほしいと考えています。

もちろん、ソフトウェアテストに関連した技術記事や情報も充実させ、皆様の情報収集の助けになるような内容にもしていく予定です。**実行委員会自身楽しんで取り組んでいきますので、皆様も是非発行を楽しみにいただければと思います。**

さて、この WACATE-Magazine も WACATE と同様、先輩方や若手の皆様のご協力なしには続けるはいけません。インタビューや寄稿、情報の提供など様々あるかと思いますが、業界育成の見地から、**是非ご協力いただければ幸甚でございます。**

✦ 創刊号 (vol. 1) のお品書き ✦

- 1p. ご挨拶
- 1p. お品書き
- 1p. WACATE TOPICS
- 2~4p. 特集：WACATE2008 Wintetr Report!!
- 5p. せんばいにきく。
- 5p. ワカテにきく。
- 6p. SoftwareTestTopics 「来月の本とか。」
- 6p. SoftwareTestTopics 「オススメイベント」
- 7p. 池田暁の「ミュージカルに恋して」
- 8p. 源太郎の「開運ソフトウェアテスト占い」
- 8p. 次号のお知らせ
- 8p. 編集後記
- 8p. おくづけ

✦ WACATE TOPICS ✦

1/28-29, 目黒雅叙園で開催される JaSST'09 Tokyo で実行委員会がセッションを担当！当日は是非応援よろしくお願いします！

[News] [JaSST'09 Tokyo](#) で WACATE 実行委員会によるセッションを行います。

[News] 技術評論社「[ソフトウェア・テスト PRESS vol.8](#)」に WACATE 紹介記事が掲載されます。

[Web] [WACATE 2008 冬](#) の閉幕の御礼と、当日のレポートを掲載しました。

WACATE 2008 Winter Report!!

REPORT-1

さる 12 月 20 日～21 日、[東京上野水月ホテル鳴外荘](#)にてソフトウェアテストワークショップ WACATE 2008 冬～自分が変われば、世界が変わる～が開催されました。



とゆーワケで実行委員会がレポートさせていただきます！

■1 日目 (12 月 20 日 [sat]) ■

受付開始。みなさん緊張した面持ちで来場。若干緊張ムードが漂います。席に新しい方が座るたびにお辞儀をして座ります。(初々しいっ★)顔なじみの方は遠くからお辞儀をしあたりなどしています。そして実行委員ではオープニング担当山崎さんがめっちゃくちゃキンチョーしてますw

■オープニングセッション

そして始まったオープニングセッション！



山崎さん、無事笑いがとれました。参加者のみなさんも若干ほぐれたかな？そのままの勢いでポジベセッションに突入！

■セッション1「ポジションペーパーセッション」

「1 人 3 分」に最初はみなさん焦り気味な感じがありました。スタートの合図とともにポジベをめくる音、そして各自意気込みの発表！終わったら拍手！終盤になるにつれ慣れてきたのか、笑顔も見えます。楽しく談笑している班、深い話に一同真剣に耳を傾けている班、3 分間にいろんなものが凝縮されていて、参加者のテンションもどんどん上がっていきます★慣れてきたところで今度は席替え！更に緊張もほぐれ、各班に笑顔が。やまさきさんワザ有り！さすが副実行委員長★そしていよいよ本格的なワークに突入！

■ワークショップ1「やってみよう！状態遷移テスト」

「状態遷移テスト」という言葉でなんとなくどんなテストかが想像できるので、学習済みや経験済みの方が多きと思いきや、思いがけず経験の浅い方が多かったです。

解説が始まり、ストップウォッチの仕様記述から「状態」にマークを入れるミニ演習に入ろうとした時点で…あれ？？参加者の手元に資料が無い！！休憩時間の間に配布するのを忘れていたのですわ

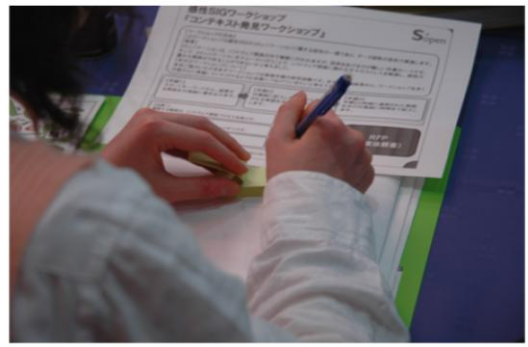
あああ！申し訳ありません！なんとか開始！；

ポジションペーパーセッション時の歓談が嘘のように緊張した空気になりました。10 分の演習もみなさん一生懸命取り組んでいました。そして解答を佐々木さんと後藤さんに発表していただきました！本当は解説込みでお願いするところでしたが、時間がおしてしまったため答えだけの発表とさせていただきます、若干心残りに…

最後に実行委員から解答の配布と「職場ではもっと複雑なこともあるので是非職場で生かしてください。」とメッセージを。復習のためにおみやげも用意！SNS にトピックを作成していますので、そちらで間もなく公開する予定です。

そしてお昼休みへ…

■ランチセッション「コンテキスト発見ワークショップ」



「ソフトウェア開発プロセスに関するキーワード」という条件で、スタートキーワードから連想するキーワードを書く→さらにそのキーワードから連想するキーワードを書く…という連想の連鎖を行う演習でした。

参加者にはポストイットが配布され、ポストイットをめくりながらどんどんキーワードを書いています。今までの最高は 60 枚くらいらしいですが、最後らへんは皆さんグッタリするそうですw開始するとみなさんもくもくと作業を始めました。途中くらいから疲れが見えはじめ、割とグッタリしてましたw

この結果は小池さんが回収して分析を行い、JaSSST' 09Tokyo で発表されるそうです★ →[小池さんのセッション](#)

■セッション2「品質管理とインシデント分析」

おなかもふくれ、部屋も暖かい…そんな中マッタリと 1 時間講義だなんて、学生時代を考えればどうなるかは想像が付きますねw加文字さんの軽快なトークに癒えつつも、みなさん眠い目をこすりながら一生懸命聞いていました。

「QC7 つ道具」ほとんどの方は聞いたことあるものの、説明できる方は 10 名いらいっやらないくらい。使っている方ともなると、ほとんどいらいっやらない様子。眠たくても頑張って聞いた内容はいつかきっと役に立つはず★

WACATE 2008 Winter Report!!

REPORT-2

■ワークショップ2「インシデント分析と改善提案」

講義→演習という流れはやはり効果的だった様子で、品質管理の一部として改善活動の一環としてインシデント分析の演習を実施していただきました★

最初は戸惑い気味だったみなさんも、2008夏の参加経験者の方が上手にリードをしてくださったおかげで、議論が進むにつれ立ち上がり、熱いディスカッションが行われました★



30分でインシデント分析方針の決定、30分で改善活動方針の決定を実施していただきましたが、本当に各班の成果物には特色があり、ひとつとして同じ成果物が出てくることはありませんでした。西さんのユーモアあふれる講評にみなさん耳を傾けながらたくさんの方の考え方に触れていただきました★

そして、1日目のワークショップは終了し、温泉&ディナーセッションへ。

■ディナーセッション



西さんが音楽を仕入れてくるという用意周到っぷりで始まった「WACATE13のオールナイトセッション」。

参加者が申し込み時に記載した「意気込み」を紹介して、西さんと池田さんがイジるというセッション。前向きな意見が多くてよかったですねー★



その他、メディアサポーター「組み込みネット」様からのプレゼントや「技術評論社」様からのプレゼント、参加者すぎたさんからの差し入れなどをかけたジャンケン大会も行われました★

■分科会

ディナーセッションが終了したあとは、恒例となりました分科会が開催されました。テーマは6つ。

■PC 温故知新

- ・テストのやりがいとは何だ？
- ・地方でのテスト技術者交流について語る
- ・あなたの机の上の癒し系は？
- ・自分が若い頃、どんな教育を受けていた？
- ・酒とテストとモノ

それぞれのテーマで部屋が使えるギリギリまで語られていました★夜中までテストの話で盛り上がる盛り上がるw
こうして WACATE2008 冬の1日目は更けていきました。。

■■2日目(12月21日[sun])■■

さすがに夜中まで飲んだり話ったりしたせい、数名朝食が摂取できていませんでした。。かくいうレポーターも食べていません@@；そして WACATE もとうとう2日目に突入！

■4WCSQ セッション

電気通信大学 河野さんによる [4WCSQ\(4th World Congress for Software Quality\)](#) 参加紀行と参加した際に実施した手続き・経緯などを解説し、自分が変われば見える世界が変わるということで繋げる「WACATE 的スキルアップ」ワーク。技術的よりも、人生的な話になっていった気がします。

今までの自分の棚卸しと目標の見える化を実施。そして継続の大切さと続けるコツの伝授。そして参加者による自分の決めた目標値に対して宣言！

- ・体脂肪率を下げていい男になるぞ！
- ・自分の住んでいる地域でコミュニティを作りたい！
- ・結婚したい！

参加者の人生目標がアツク語られました☺実際に宣言をすると、人間はやる気になるんですね。やらざるをえないことにもなるので、効果が高いのです。先輩からの言葉として大変ためになるワークショップでした★

WACATE 2008 Winter Report!!

REPORT-3

■ワークショップ3「テスト計画を作ってみよう！」

与えられた仕様に対してのテスト計画作成。まず個人でワークし、チームへ。笑いながらも真剣に。すごくいい雰囲気でのディスカッション。**みなさん立ち上がって議論×議論!**



ベテランを中心にするチームやベテランが助言に回るチーム。本当にいろいろな班がいて、2008 夏の再来のようにアツかったです★各自持ち込んできた付箋などで情報整理を始める!そして、急きょ予定変更で午前中に終了する予定がランチ時間も使い、ランチ明けの発表として、それまで自由時間ということになりました!

早々にランチをとるチーム、発表物を作成してからランチに向かうチームなど、各チームの戦略がまた違って楽しそう♪そしてランチ後、各班の発表が行われました。

■グループディスカッション

■「テストの現場、楽しくしてみませんか？」

楽しいと思うことを直感で書いてシェアする。**楽しいことをもっと楽しくするには?**というテーマに対して、グループでディスカッション!セッションを楽しんでいた方も多く、皆さんイキイキと作業されていました★



各チームのアウトプットもイラストを入れたり、楽しい雰囲気満載でした★

■クロージングセッション

■「仕事のモチベーション/自分のモチベーション」

デバッグ工学研究所代表松尾谷徹先生をお迎えしての講演。ユーモア溢れる軽快なトークに会場からは笑みがこぼれます。また演習ではみなさん楽しそうに取り組んでらっしゃいました。人生におけるモチベーションの上がり下がりを書いて談笑したりなど、講演ということを忘れてみなさん楽しんでいました。モチベーションのコントロールやひとを褒めるときなどに注意すべき点など、大変ためになる講演でした。やはりモチベーションって大事ですね。と再確認。

■クロージング

2 日間のまとめをいいんちよーから皆さんに。そして Magazine と JASST' 09 そして 2009 夏! の告知★参加者の皆さんが楽しみにしてくださったようで、委員会も嬉しかったです★最後にいいんちよーが若干ウルウルしながらも委員にねぎらいの声をかける。。レポーターは実は泣きそうでした♪
続きまして、2 日目の昼に投票した「**ベストポジションペーパー賞**」の授賞式が!今回は3つの賞を用意しました♪

WACATE 参加者全員の投票が最も多かったポジションペーパー

★「**Best Position Paper 賞**」

WACATE 実行委員が選んだポジションペーパー

★「**Most Accelerating Paper 賞**」

ゲストスピーカーが選んだポジションペーパー

★「**Biased Favorite Paper 賞**」

受賞したみなさん、おめでとうございます♪そしてベストポジションペーパーの副賞として「**地球儀**」がいいんちよーから贈呈されました。地球儀には実行委員からの「世界に羽ばたく若手になってほしい」という願いが込められています。

そして、最後は恒例となった集合写真をパチリ☆



こんなに大勢の方が集まってくださいました。1泊2日でテスト話に花を咲かせ、一緒に勉強して一緒に笑って…こんなにたくさんの同志がいるなんて。**参加者のみなさん、1泊2日に渡る WACATE2008 冬、本当におつかれさまでした。アツい2日間を有難うございました。**みなさんは変わることができたでしょうか?みなさんの変化を少しでも後押しできたなら、幸いです。



最後に実行委員でもパチリ☆
参加された関係者のみなさん、本当に有難うございました。

伊せんばいにきく。

第1回：【「クリエイティブ・クラス」を作るのは「変な人の集まり」】 デバッグ工学研究所代表 松尾谷 徹 先輩

先日、久しぶりに大場先生（広島市大）のお話を聞く機会がありました。ソフトウェアマネジメント研究会という小さなコミュニティで、企業を越えた有志が集まり月に1度の勉強会を続けております。このコミュニティは、ちょうど20年になり、発足当時の大場先生が記念講演を行い、それにつられて、当時のメンバーも参加していました。

大場先生から「クリエイティブ・クラスの世紀」リチャード・フロリダ著を紹介され、早速読んでみました。大場先生のお話とも合わせ、現代の労働価値観（個人、企業、社会）の向かっている方向がなんとなく見えてきたような気がしました。

要約すると、**21世紀は、創造的クラスが、他のクラス（資本家、ホワイトカラー、ブルカラー、・・・）より富を得る。**つまり、時代に合った職業人であり、企業競争力の中心になることを示しています。「クリエイティブ資本論」とも呼ばれています。どうすれば、クリエイティブになるのか？フロリダは、「技術」「才能」「寛容性：tolerance」だと主張しています。

日本について考えてみましょう。日本の企業は新人からの人事育成によって、製品やプロセスの基礎の基礎を支えてきましたが、急激に競争力を失っています。企業は人に投資をしなくなりつつあります、それは、新人から育てても大量の早期退職（つまり貢献できない）という現実があるからです。

若い技術者にとって、現代は非常に厳しい時代、いや、前世紀の知識を学んだり、先輩を見習うだけではリスクが大きい時代に生きています。「技術」「才能」については、それほど前世紀と差はなく、むしろ優れているのですが、問題は「寛容性」です。単語の意味だけでは、意味不明の「寛容性」とは何でしょう。

仲間や職場や地域など、技術者の置かれている社会の寛容性が高くないと、創造クラスは育たないことをフロリダは実証しました。



寛容性が低いとは、閉鎖的で規範的、あるいは画一的で多様性を認めない社会です。残念なことに、日本の多くの企業は寛容性が低く、それをまだまだ維持しようとしています。

技術者にとって仕事に従事することは、「対価を得る」だけでなく「自分の成長」の目的があります。後者に悪い影響を与えているのです。どうすれば良いのでしょうか、国外逃亡など過激な手段を取らなくても、「寛容性」の高いコミュニティに属し、そこからクリエイティブ・スキルを吸収することです。

冒頭で紹介したソフトウェアマネジメント研究会の20年を振り返ると、東先生、大場先生、保田先生、松原翁、奈良さん、・・・この業界の大御所の時代ですら、多様で寛容なコミュニティが大きな影響力を持っていたのです。WACATEをはじめ、寛容性の高いコミュニティが日本におけるクリエイティブ・クラスを作ると私は確信しております。WACATEの20周年頃には、皆様もその結果を見て確信すると思います。変な人や老人を大切にしましょう。

ワカテにきく。

第1回：【熱々な具沢山の2日間、ご馳走様でした！-WACATE2008冬感想】 P/N：きゃーみん



行ってきました、WACATE2008 冬！ 2008/12/20～21、東京都の上野での開催でした。「面白い」「勉強なった」…沢山の感想がありますが、一言で言うならば「**美味しい熱々の鍋料理**」を頂いているような2日間でした。

まず、コンロにかけた鍋料理さながらの熱さ、熱気がありました。

2日目のワークショップ『テスト計画を作ってみよう！』のグループ演習では、各班熱く取り組み、演習時間が不足してスケジュール変更があった程。お菓子やお酒を交えながらざっくばらんに交流する、1日目夜の「分科会」も盛り上がりました。テーマ毎にグループに分かれて行われ、私が行ったグループでは、**テストにおける観点の話や、コンピュータの歴史といった話題が出ました。**一部は、深夜まで続いていたようです。

鍋料理の魅力のひとつは、様々な具を手軽に食べられるということがあると思います。WACATE2008冬でも、講義を通して様々なお話を伺うことができました。テスト技法、インシデント分析、モチベーション、スキルアップ、などなど。全てご紹介することができない程、数多くの「具」（知識、話題）を頂きました。

参加型であるという点も、鍋料理に近いのではないのでしょうか？ 鍋料理は、みんなでわいわい言いながら具を追加していくイメージがあります。WACATE2008冬も、参加者が主体になる機会が何度もありました。ですので、他の参加者のみなさんからも、度々「具」を頂いた気がします。例えば、2日目のグループディスカッション『テストの現場、楽しくしてみませんか？』のグループ演習。テストにおける楽しいことを更に楽しく、辛いことを楽しいことに変える案を発表するものでした。**ここでは、班のみなさんとの話し合いや、他の班の発表を通して、改めてテストの魅力の幅広さに気づかされました。**参加者が各自事前提出したポジションペーパーも、参加型でした。内容が濃いもの、見せ方を工夫したものが多く、「こんな観点もあったのか！」と何度も思いながら拝見していました。私自身は、自分なりに新しいことをと思い、テストで使われる図表を使って自己紹介することに。デシジョンテーブルとマインドマップを使って書いたのですが、2日目に参加者投票で決まったベストポジションペーパー賞を頂きました。驚きましたが、大変嬉しい受賞でした。

鍋をつついていっているような、楽しく温まる時間でした。講師・実行委員のみなさま、参加者のみなさま、有難うございました！またWACATEでお会いできる日を、楽しみにしています。

WACATE2008冬参加者の中から、BPP賞受賞者きゃーみんさんに書いていただきました。ありがとうございました★

Software Test Topics 来月出る本とか。

■はじめに

このコーナーと下のコーナーでは、新しく出版されるソフトウェアテストや品質にまつわる書籍や、近々開催されるイベントなどの情報をご紹介します。と思っています。

普通の業務が忙しいと、なかなか書籍を読む時間がとれなかったり、イベントなどには行きづらかったりしますが、新しい情報にアンテナを張っておくのも技術者として大切なスキルの一つです。なにより新しいことを知ることは、刺激が得られ、モチベーションが高まります。皆様も是非、業務の合間をぬって、書籍を読んだりイベントに参加してみたりしてはいかがでしょうか。

■今回の書籍紹介

さて、栄えある第1回目にご紹介する書籍は、「ソフトウェアテスト PRESS Vol.8」です。

「ソフトウェアテスト PRESS Vol.8」

出版社:技術評論社

出版日:2009年1月(予定は未定)

価格:未定(1,600円程度かな?)

言わずと知れた、ソフトウェアテストに関する情報を取り扱った雑誌で、年2回程度発行されています。そして、最新刊である Vol.8 が1月中旬に出版されることが決定されたようです。

当番:山崎 崇(WACATE 実行委員会)

「されたようです」というのも、実はまだこの情報は正式なものではありません。しかし WACATE 2008 冬のクロージングの席上で、技術評論社の野口氏が、1月中の出版を公約してくださいましたので、信じて待ちましょう(笑)

では、ソフトウェアテスト PRESS Vol.8 より、気になる記事をピックアップしていきましょう。

■WACATE がソフトウェアテスト PRESS にデビュー

いきなり手前味噌ですが、今回のソフトウェアテスト PRESS には、なんと WACATE 実行委員会で記事を書かせて頂きました。WACATE の紹介などがメインの記事ですが、是非皆様にもお読み頂ければ幸いです。これで、WACATE の名も全国に轟くかも!?

■ソフトウェアテスト技法道場

好評連載中の「ソフトウェアテスト技法道場」。毎回、一つのテスト技法をテーマにして、分かりやすく例を示して解説しています。このコーナー、WACATE で何かとお世話になっている鈴木三紀夫さんと WACATE 実行委員長の池田さんが一緒に執筆していただきます。

なんでも、毎回毎回、「如何に読者に理解してもらえるか」ということに頭をフル回転させて執筆されているそうです。さて、今回取り扱う技法はなんのでしょうか? 今から気になりますね。

Software Test Topics オススメイベント

当番:山崎 崇(WACATE 実行委員会)

■今回のイベント

今回ご紹介するイベントは、皆様ご存じの JaSST'09 Tokyo。1月28日~29日の二日間、東京目黒雅叙園にて開催されます。

ソフトウェアテストシンポジウム 2009 東京
(JaSST'09 Tokyo)

日程:2009年1月28日(水)~29日(木)

会場:目黒雅叙園(東京)

主催:特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)

参加方法:Web ホームから申し込み

参加費:1日券 5,250円/2日券 8,400円(※)

※チュートリアル及び情報交換会に参加する場合には、別途費用が必要です。詳しくは JaSST'09 Tokyo の開催概要ページにある参加費の項目を参照してください。→[こちら](#)。

近年では日本各地で行われる JaSST ですが、JaSST Tokyo はその中でも最大規模を誇ります。昨年の参加者は延べ1700名にのぼり、ソフトウェアテストへの関心の高まりが伺えます。

JaSST では非常に沢山のセッションが用意されているので、どれに参加するか目移りしてしまいますね。では、筆者の独断と偏見で、いろいろと気になるセッションをご紹介します。と思っています。

■基調講演

今回の基調講演は、世界的にも有名な Roger S. Pressman 氏をお迎えするそうです。氏の著書では、「実践ソフトウェアエンジニアリング-ソフトウェアプロフェッショナルのための基本知識」や「実践ソフトウェア工学(全3分冊)」などが翻訳されており、お読みになった方も多いかもれませんね。

JaSST 開催までに一度、読んでおくと、講演内容をより理解できるかもしれませんね。

■笑いもあるでよ、ライトニングトーク

JaSST では、ライトニングトークというセッションが用意されており、ソフトウェアテストがキーワードであれば、真面目な話からネタまで数分の時間で何でも発表できるコーナーがあります。

かく言う WACATE 実行委員会でも、JaSST'08 Tokyo でこのライトニングトークに参加し、WACATE のイベント紹介と2007年の活動発表を行いました。JaSST に論文を投稿するのは敷居が高いと思っている人も、まずこのライトニングトークに参加して、度胸をつけてみてはいかがでしょうか?

■JaSST に WACATE がやってくる

そしてなんとと言っても、今回の JaSST では、WACATE 実行委員会も参戦します。2日目の午前に「テストのやりがいワークショップ」と題してセッションを担当させて頂けることになりました。内容については現在詰めているところなので詳細は話せませんが、WACATE らしいセッションにしたいと思います。ご興味のある方は是非ご参加ください。

■新たな挑戦!? クロージングパネル

例年は、基調講演とは別に招待講演の枠が用意されていたのですが、今回は新たな挑戦として「テスト技法からテストメソッドへの進化を目指して」と題したクロージングパネルが用意されているようです。セッション概要を読むと、なんと3時間1本勝負!! パネル参加者の名前をみると、西さんと池田君 WACATE 実行委員長の名前が!! そして WACATE 2008 夏でもご協力いただいた、秋山さんや鈴木さん吉澤さんのお名前も!!

こんな面子が集まって3時間ぶっ通しでパネルを行うのですから、熱い間違いありません。筆者的には一番楽しみなセッションです。

■おわりに

JaSST については、まだまだご紹介したいセッションがあるのですが、紙面の関係でここまでとさせていただきます。JaSST ではセッションがパラレルに行われるため、全てのセッションを聴講することができませんので、参加された方は是非、自分が参加したセッションのメモや感想などを WACATE SNS などのコミュニティで発信して頂ければと思います。

そうして情報を共有し、お互いに学んでいければ、自身のスキルアップにつながることも間違いありません。

それでは今回はこれにて。また、次回の WACATE-Magazine のこのコーナーでお会いしましょう。

池田暁の

ミュージカルに恋して。

【第一幕】—ミュージカルのコーナー作っちゃいました。—

♪ミュージカルに恋したあげく...♪

さあ始めました、記念すべき第一回目です。WACATE-Magazineの創刊にあたり、「池田暁のミュージカルに恋して」と題して私の半ば趣味のコーナーを強引に作っていただきました。しかも冠コーナー。空気を読まずに最低一年間は続けたいと思いますので、あきれながらも、ぜひお付き合いいただければと思います。

♪なぜミュージカルのコーナー？

テストワークショップの機関紙なのになぜミュージカルのコーナー？？？なんて思っている方がほとんどでしょうが、意味があるのです。ふと自分や身の回りのエンジニアを見ると、次のような人が多いようです。

- ・エンジニアは一日建物にこもって仕事をすることが多い
- ・エンジニアは休日は引きこもりがち人が多い
- ・エンジニアは気分転換が下手な人が多い

思った以上に気分転換が下手な人、もしくはその術を持たない人がいます。これは非常に危険であると考えています。テストやQAのエンジニアは、経営・設計部門・お客様の間に挟まれた、非常にストレスのたまりやすい職業です。気分転換がうまくできないと、心が弱ってしまい、最悪、病におちいってしまいます。ならばスポーツでもと考える人は多いのですが、これが案外難しい。

スポーツの類は基本的に相手が必要です。気が向いたときに仲間を集めるのは結構大変です。また、温泉で疲れでも取るかとか出かけてみるものの、帰ってきた次の日は温泉疲れで一日休んでしまったり。こんなかんじですから、あまり体は使わず、でも自宅以外で、気分転換が出来るものと考え、インドア系のものがよさそうに思います。

♪劇場に足を運んでみませんか？

そんなわけで、「手軽な気分転換として、劇場に足を運んでみませんか？」と皆さんに提案します。定時後や休日にふらりと劇場まで出かけます。劇場の中はいつもいる空間とはまったく別。そして華やかな舞台、いわば非日常を体感じ、手軽に気分転換ができます。

また、普段我々は左脳を中心に仕事を行っています。観劇によって芸術をつかさどる右脳を使い、バランスをとってあげることが出来ます。

それから、気分転換ができるだけでなく、教養が身につきます。ミュージカルの本場のひとつウエストエンドがあるイギリスだと「今日の劇場でどんな演目が上演されるかを把握していて、また演目の感想をいえること」がビジネスマンとしての教養だそうです。国は違えど、教養を身につけるのは自分の幅を広げるために大切なことです。

♪ミュージカル楽しいですよ！

まあいろいろと理由を並べてきたわけですが、このコーナー自体はほぼ私の「趣味」です。(笑)是非気軽に読んでいただければと思います。

まだミュージカルを観劇したことがないという方は、「こういう世界もあるんだ」と読んでもらえればいいですし、すでにミュージカルファンという方は観劇記みたいいな感じで読んでいただければと思います。

♪ミュージカル観劇記♪

♪「2008年個人ランキング」♪

さて第一回目ですが、今回は2008年に観た演目から個人的ランキングをご紹介します。

- 第一位：ルドルフ -The Last Kiss (5月、帝国劇場)
- 第二位：ミス・サイゴン (7月~10月、帝国劇場)
- 第三位：ペガズ・オペラ (3月、日生劇場)

2008年は東宝系を中心に観劇したこともあり、東宝が3位まで占めてしまいました。

今年の演目ではやはり一位のルドルフが思い出深いです。ルドルフ役の井上芳雄さん、マリー役の笹本玲奈さんのファンということもあり、通算13回も観劇してしまいました。フランク・ワイルドホーン氏による音楽も非常に印象深かったですね。賛否両論な作品ではありましたが、自分を取り巻く状況をルドルフに重ね合わせてしまいました。

このほか、特に印象に残っているのは、エリザベトやラ・カージュ・オ・フォール。レベッカも良かったですね。ミュージカルではないですが、宝塚boysや細雪も良かったです。どちらも劇場で号泣。

2008年は全体的にはミス・サイゴンの再演やルドルフの日本初演といった大作の上演が増えた一方、中劇場・小劇場においても佳作が多数上演されました。次号以降でこれらの演目の感想をご紹介します。

♪今月のキニナル演目♪

今月のキニナル演目は「ドロウジー・シャペロン」。

★ドロウジー・シャペロン

<http://hpot.jp/drowsy/>

日生劇場、2009/01/05(月) ~ 2009/01/29(木)。

出演：藤原紀香、木の実ナナ、川平慈英、小堺一機 ほか
あらすじ：ブロードウェイの大スター、ジャネットは富豪の御曹司ロバートと避暑地で恋に落ち、人気の絶頂で突然、結婚・引退を宣言します。様々な困難を乗り越えて、ジャネットはロバートと無事にゴールインできるのでしょうか…。

2006年にブロードウェイで上演され、トニー賞5部門と、好評を博した作品です。ミュージカルオタクの中年男が、1928年初演の、古きよきミュージカル「ドロウジー・シャペロン」を説明するというスタイルで進行していきます。

プリンシパルはミュージカル初出演となる藤原紀香さんのほか、実力派が脇を固めます。演出は宮元亜門さん。ちなみにこの演目には、お友達の今泉由香さんがアンサンブルとして出演、個人的にも楽しみな演目です♪

♪おわりに♪

さて、第一回目ということもあり、いきなり増量モードになってしまいました。次回以降はもう少しボリュームを抑えながらも、楽しく書いていきたいと思っています。是非楽しみにしてください！

開運

源太郎の
ソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…
日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	1月の運勢
一水星	S47/S56/H2	先月の盛運に引き続き幸運の月、心も浮き立ち身も多忙になり、なんとなく晴れ晴れとしてくる忠実に本分を守り十分計画を練り、躊躇せずに進むべし！
二黒土星	S46/S55/H1	本月は凶運というほどでもないが、自然に気をもらす様な月で、争論苦情の不和が生じる憂いあり、また他事の世話事のため思わぬ損失を招く恐れあり、盲進せざる限り順調に運ぶ。
三碧木星	S45/S54/S63	本月は本命星死線に入りまた中宮星とは木剋金の相剋にて甚だ衰運の月、万事変動極まりなく油断のならぬ月なり如何に努力するも途中にて挫折すること多し、まず新規事業は見合わせ、軽拳盲動を慎み万事控え目が吉。
四緑木星	S44/S53/S62	本命星中宮と木剋金の相剋にて甚だ衰運月なので、昨年の不を取り返そうとせずに、万事内輪に軽拳盲動を慎み、独断専行をなさずに控えめに本業に努め、八・九分の利を見て止めるべし。
五黄土星	S43/S52/S61	本月の運気すこぶる盛大にして金銭上にも縁あり、新規事業は取掛かって成功す、継続中のものは躊躇せず進行すべき。勢いのある月ならば、奮起すればするほど福徳充実す。この気を逸することなく向上発展に努めよ。
六白金星	S42/S51/S60	本命星中宮に入り暗雲低迷といった状態で悲境は免れ難く、暗中航海をなすが如く、自由ならざる感あり、楽は苦のタネ、苦は楽のタネ、苦はやがて楽しみ、失望せず慎重に大害を被らないように将来にかけて行動すべし。
七赤金星	S41/S50/S59	先月は故障起り困難多く、いまなおその疲労は容易に癒えず、しばらく運氣回復するまで決して悲観せず、ゆっくり進めべし、一挙一動に注意を要す。北西の方角は、本命並み暗剣殺にて大凶方に付き万事に心せよ。
八白土星	S40/S49/S58	本月は幾分運氣消衰の象であるも清浄安楽味を保ち平和な付きにて吉の方なり、一年の計は元旦にありと云われてきた諺の如く、大計をもって初志の貫徹に勉めるべきなり。小利に惑わず、実直に進むことが肝要なり。
九紫火星	S39/S48/S57	本命星中宮と、火剋金の相剋加えて本命死線に入りすこぶる衰運大なり。軽はずみなことを慎み、困難を征服し、事業独断専行を取らず、真面目になすべし、何事も早めに回復を図ることに努力奮闘し万事控目になすと吉。

次号のお知らせ

1月31日(sat)に WACATE-Magazine vol.2 発行します！(予定)

次号の特集は JaSST' 09 参加報告の予定！

※JaSST やってから2日しかないけど、大丈夫なのかしら？w

また、↓新コーナーも予定しています♪

電子計算機温故知新

次号から連載開始！(予定)

～序章～

本コーナーでは、電子計算機(パソコン・マイコン)を通じて、コンピュータの基礎やものがない時代の創意工夫(解析・改造・情報収集・etc)が若手の方々にとって何かのヒントになれば幸いです。時には浅く広く、また深く狭くどさまざま話題を織り交ぜてまいりますので、末永くよろしく願っています。

次回：第一章 ～(仮)パソコンで改造と言えば…～

あなたのしみに★

編集後記

いいんちょ★祝創刊！2009年も頑張っていくよ～！
ぶくいんちょ★何とか、年内発行に間に合った…かな？(;^_^)
コヤマン★あー今年賀状ぜんぜん書いてないissかっペーw
おらかみ★年末年始は…フードファイト日和です♪
ぼんぼん★この正月はお雑煮に挑戦するつもりです♪…夫が…orz

★おくづけ★
2008/12/31(wed)はっころ
WACATE-Magazine へんしゅろ
✉Magazine@wacate.jp
<http://wacate.jp/Magazine/>